

## 平成29年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	小川晃
	<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3622
<b>事務事業名</b>	4302 創造の家管理事業											
<b>所 属</b>	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課											
<b>施 策</b>	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費										
	<b>事業</b>	010000 創造の家管理事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
勤労青少年や市民の豊かで活力ある余暇活動の拠点として学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるよう、施設の充実と活性化を図る。						須坂市体育協会を指定管理者として、事業実施、施設管理を委託する。						

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。
<b>平成29年度 予定</b>	<b>平成30年度 予定</b>
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。	
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>

指標名	勤労青少年ホーム創造の家施設利用者 総数				
算式	施設延べ利用者数+大人の教室、サークル参加者数				単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-
指標選定の理由	勤労青少年以外の利用が比較的少ない昼間に民間団体等への貸館を行ない、施設の有効利用を図りながら市民の憩いの場として有効活用されるよう取り組むことから、施設利用者、サークル参加者の総数を指標とした。				
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		11,619	11,524
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		11,619	11,524
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	721.9	721.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	721.9	721.9
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		12,340.9	12,245.9

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	519	北側扉修繕
13節 委託費	11,100	指定管理委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	11,300	指定管理委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	224	修繕費53、備品購入171

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	やや低い
評価コメント	施設設置の根拠法改正を受け、生涯学習、社会教育事業との整理が必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	例年並みの利用状況にある	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	コストは変わらず、利用者数は増加している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

体育協会が施設の空き時間を活用し、自主事業の実施に努め、効率的な施設運営がされている。

**ACTION**

**1次評価**

**2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>勤労青少年福祉法が全面改正され、勤労青少年ホーム事業は市単独事業となっている。中小企業に勤務する青少年の福利厚生を図り、出会いの場を提供する観点や公民館事業との整理をし、施設・事業のあり方を再確認する。</p>		<p>公共施設等総合管理計画に基づき、施設廃止は行わないが、実施講座等事業内容については、公民館事業との類似性等勘案しながら検討していく必要がある。</p>	

**外部評価**

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	